

第3回津波防災地域づくりに係る技術検討会 議事要旨

日 時：平成23年12月9日（金）10：00～12：10

場 所：中央合同庁舎2号館低層棟共用会議室3A・B

<建築物等の前面における津波のせき上げ高の評価手法について>

- せき上げ高を評価するために、比エネルギーを用いて基準水位を求める手法は、根拠も確かであり、本日の資料の結論でよい。
- 地盤面を基準とした基準水位を表示する図面として、都市計画図と同じ縮尺の図面とすることは適切と考えられる。
- 委員からの意見を踏まえて本日の資料を修正し、本検討会のとりまとめとする。その確認は座長一任とする。
- 今後、基本指針や法律の施行通達等の内部検討に、本検討会のとりまとめを反映させていくこととする。

<特定開発行為の地盤部分となる盛土・切土について>

- のり面・がけ面については、芝張り等の植生があれば、津波の流れによるせん断力に対し、盛土等全体の破壊には及ばないということによりよい。
- 洗掘対策や浸透対策の必要性の有無や対策の規模について、円弧すべりの安定解析と各種文献から検討する方法は、本日の資料の考え方でよい。
- 盛土法尻の洗掘対策については、根固工のほかに地盤改良工や置換工なども考えられることから、できるだけ多くの工法を例示してほしい。
- 他の基準と整合するよう留意しながら引き続き検討を進め、次回、検討会では全体とりまとめ案にて議論することとする。

<津波防護施設について>

（報告事項のため、特筆する事項なし）

以 上